

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2023



ひがしっ子 3月



園長コラム

令和4年度も残すところあと少しとなりました。卒園式はもう明日に控えていますので、年長児にとっては本当に最後の最後です。東園で経験したことが、様々な場面でこども達の支えになってくれることを願っています。

幼稚園や保育園は、家庭と言う最も小さな社会の単位から、もう一つ大きな社会に慣れ親しんでいく時期です。「集団にはルールがあり、それを皆で大切にしないといけない」ということに慣れ親しんでいく時期であるとも言えますね。「みんな仲良く」は理想ですが、それは努力なくして得られるものではありません。

そういった環境はこども達にとって適度な負荷となり、感情を豊かにし、心を強くしてくれます。集団と言うものは、次第に学業やスポーツ、仕事等の「成果」を目指す集団になっていくと言えますが、東園で大切にしたい集団はそこではありません。今だからこそ、人と心が通じた喜び、人と一緒に何かを取り組んだ時の楽しさ、そして、それらを得られるまでの苦労や葛藤を沢山感じてもらいたいと思っています。

東園の卒園児たちは、基本的に全員が近隣の公立小学校に通っていきます。学校の枠組みが色濃く残っている集団の中で生きていくことになりますので、集団とも上手に付き合いながら、自分らしさも発揮できる子になってほしいと願いを込めて、東園という環境を整えているところです。

0～2歳児クラスの1か月

手本になるのは

本当に大きくなりました。毎日じっくりとかかわることができない自分でも、思わず笑顔がこぼれてしまうわけですから、保護者や保育者にとっては言葉では言い表せない喜びであると思います。

そんなこども達に対して誇れる親であり、保育者であり、園であり続けたいものですね。





3～5歳児クラスの1か月

小春日和の中で

今年最後の遠足を各学年が行ってきました。どのクラスも自然豊かなところに行ってきたことが写真ですぐわかりますね。緑や花はまだ少ししかありませんでしたが、少ないからこそ、自然をよく見て、よく聞いてくるのができたようです。年長児にとっては園生活最後の遠足。本当にあっという間に大きくなっていくこども達ですね。





マラソン大会

今年度のマラソン大会は真岡市の陸上競技場で実施しました。広々とした会場で、普段の園庭とは全然違いますね。こども達もわくわくドキドキ。いつもとは違った環境で不安もあったかと思いますが、保育者たちも普段のこども達らしくいられるように、気持ちを汲みながら鼓舞していたのが印象的でした。

